

2026 年 7 月 15 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社

(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

世界初の日本株式ファンドをパブリック・オンチェーン化へ

～日本円ステーブルコイン、DeFi を融合し、日本株を世界へ届ける次世代金融インフラを構築～

SBI グローバルアセットマネジメント株式会社（以下、「当社」）は、シンガポール金融管理局（MAS）の規制下で現実資産（RWA : Real World Assets）を裏付けとするトークンの発行・取引を行う、SBI グループの資本業務提携先のデジタル資産取引所の DigiFT Tech Pte. Ltd.（以下「DigiFT」）と連携し、日本株式ファンドとして世界初のパブリック・オンチェーン化を実現いたします。

対象ファンドは、当社子会社である SBI アセットマネジメント株式会社が運用する「SBI 日本高配当株式ファンド」です。同ファンドの既存マザーファンドを活用した私募ファンドを新たに組成し、2026 年 7 月 14 日から DigiFT を通じてパブリック・ブロックチェーン上でトークン化を開始し、シンガポールをはじめとする世界の投資家に、日本株への新たな投資機会を提供いたします。

SBI グループは、日本株をはじめとした様々な資産、日本円ステーブルコイン、DeFi を融合した「日本発のオンチェーン資本市場」の実現を目指しており、本件はその第一歩となる取り組みです。

本取り組みの基盤となる「SBI 日本高配当株式ファンド」は、2023 年 12 月の設定以来、国内投資家から高い支持を受け、純資産残高は約 2,200 億円まで成長しております。高い配当利回りと中長期の資産成長を両立する日本を代表する高配当株式ファンドとして、多くの投資家にご支持いただいております。

今回の取り組みにより、世界中の適格投資家は、DigiFT を通じて 24 時間 365 日、日本株ファンドへアクセスすることが可能となります。また、購入・決済には米ドルステーブルコイン「USDC」を利用できるほか、今後は SBI 新生信託銀行株式会社が発行する日本円ステーブルコイン「JPYSC」への対応も予定しており、日本円・米ドル双方からシームレスにオンチェーン金融へアクセスできる環境を構築してまいります。

SBI グループと提携先の DigiFT との合弁会社である SBI Onchain 株式会社は、日本におけるオンチェーン取引所の企画・運営に向けた準備を進めており、本取り組みにおいては、プロジェクト全体の企画・運営を担い、各参加者・サービス間の連携を推進します。

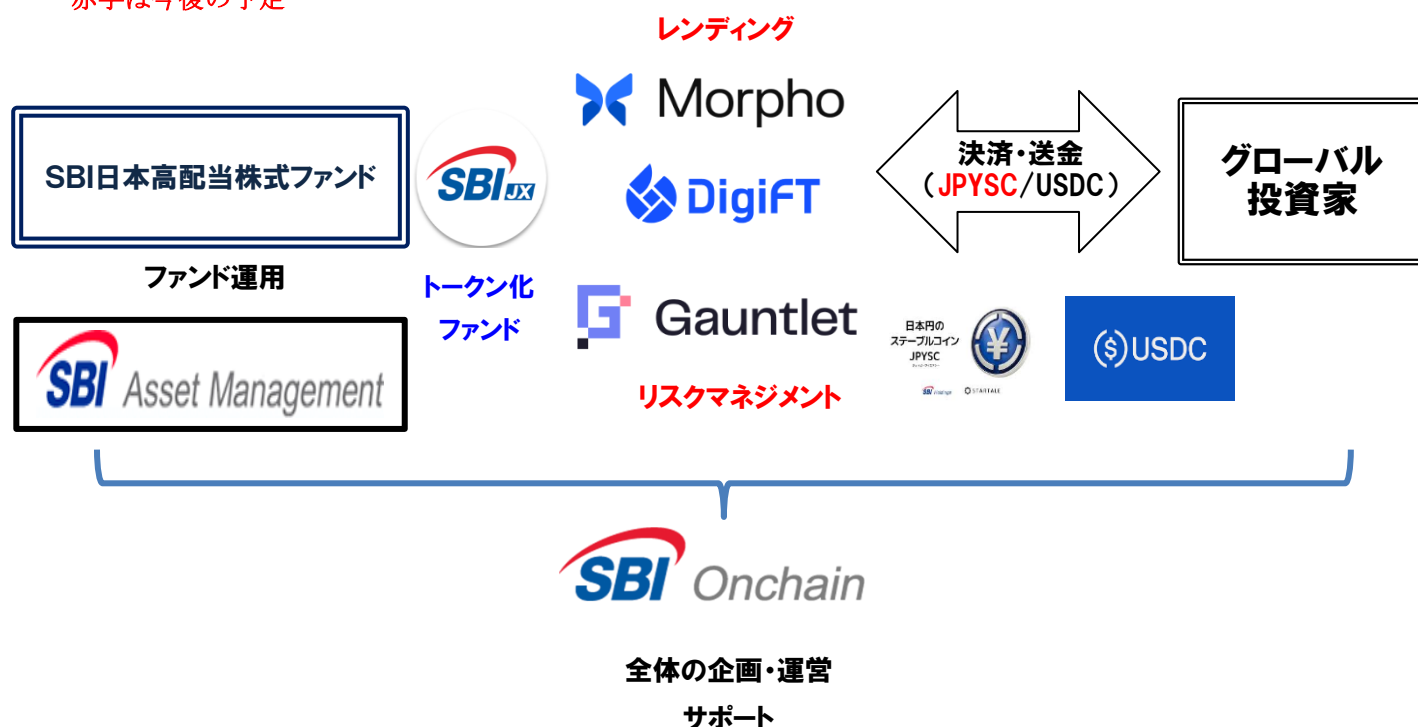
今後はSBIグループの業務提携先である、Morpho のレンディングプロトコルや Gauntlet のリスクマネジメント技術等を活用し、世界最先端の DeFi インフラを活用することで、日本株 RWA トークンを担保とするレンディングやオンチェーン資産運用など、新たな金融サービスの実現を目指します。

これにより、日本株 RWA トークンは、単に保有するだけの資産ではなく、DeFi を通じて資産効率を高める金融資産へと進化し、投資家に新たな運用機会を提供することを目指します。

SBIグループは今後も「顧客中心主義」のもと、規制に準拠した金融サービスと最先端のブロックチェーン技術を融合させ、日本円ステーブルコイン、米ドルステーブルコイン、多様な資産及び DeFi を統合した新しい金融インフラを構築することで、日本の金融資産を世界へ届けるオンチェーン資本市場の実現に取り組んでまいります。

<スキームのイメージ図>

赤字は今後の予定



****【本件に関するお問い合わせ先】****
 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170
 (金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人資産運用業協会)